



## 1月号に引き続き...

1月号に引き続き、私たち愛知大学生の4人がこのコーナーを担当させていただきます！

今回のラインアップは、1月号に引き続き金魚についてのレポートと散策スポットについてのレポートです。

よろしければ、ご一読ください。



## 愛知県水産試験場の原田さんにインタビューをさせていただきました！



### Q1 どのような活動を行っていらっしゃるのですか。

A. 愛知県には水産試験場が何カ所もあり、弥富市にも水産試験場があります。そこでは、金魚の新品種開発や金魚の病気について研究しています。昨年新しく仲間入りした「サクラチョウテンガン」は弥富市内の水産試験場で開発されました！蒲郡市にも水産試験場があり、海のプランクトンの状況や環境、赤潮やにがしおなどに関する漁業の研究を行っています。また、資源管理のために、どうしたら魚を絶やさないでいられるのかについて考えています。具体的には、ウナギの内水面での養殖や、効率の良いアユの放流の仕方についてです。



### Q2 この仕事の目標ややりがいについて教えてください。

A. 漁業の振興です。弥富市の場合であれば、金魚養殖を少しでも盛り上げることです。そのために、新品種開発で世間にPRして金魚の認知度を上げることが目標です。また、漁師が少しでも儲かるようにすることも目標です。

### Q3 今後の課題は何でしょうか。

A. 金魚養殖業の高齢化や、後継者不足の問題です。どの産業でもそうだが、振興するには若い人の力が必要です。今回のような金魚に関するイベントを開催するなど、いろいろな取り組みが行われているが、高齢化や後継者不足の課題を解決することは難しいと思っています。金魚養殖業が儲かる産業に発展できれば、後継者が増えるのではないかと考えています。

## モザイクアート

今回のイベントでは、竹島水族館と弥富市のコラボ企画として、貝殻を使ったモザイクアート作りが行われました！

完成したモザイクアートはいくつかの施設を巡った後、弥富市役所に飾られました。



## 金魚のせり

金魚も、マグロなどの海鮮のように競りが行われています。私たちも実際に競りを見学しました！流れてくる金魚に競りの専門用語を使って、値段が決められ、競り落とした人が番号が書かれた札を投げ入れていました。飛び交う専門用語に圧倒されました。



# 弥富市の 知ってる？ 散策スポット



## 文鳥電話ボックス

その名の通り、電話ボックスの上に2羽の白文鳥が留まっています。

2羽の文鳥が街を見渡している様子がかわいいですよ。

文鳥愛好家の新たなスポットになると思います。

皆さんもぜひ可愛い文鳥を見に来てみてください！



## 立田輪中人造堰樋門

1902年に建てられた樋門で、弥富市の指定文化財に登録されています。

樋門の上を歩いてみると、思った以上に高かったです！



## 水郷の塔

私たちも弥富市のシンボルタワーに登ってみました！

塔からは、木曾川と三重県を見渡すことができ、壮大でした。

塔の横には、波の形をしたモニュメントと伊勢湾台風の被害状況が書かれていました。

改めて、被害の甚大さを知りました。



## 森津の藤公園

弥富市の指定天然記念物の藤と服部擔風が書斎として建てた指定文化財の藍亭があります。

私たちが行ったときは、藤は咲いていませんでしたが、4月下旬には見ごろを迎え、藤まつりが開催されます。



## 取材を終えて

「やとみの金魚すくって★！大作戦！！」の取材や散策スポット巡りを通して、弥富市についてより深く知ることができました。

また、実際に市役所の方々と作業する中で、将来公務員を目指している身として学ぶところが多くありました。

2カ月分続けて掲載できたのは、快く取材に応じてくださった皆さんと市役所の方々のおかげです。大変感謝しております。

ご一読いただき、ありがとうございました！

